

「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第5回総合部会 委員意見要旨

No.	項目	発言要旨
1	地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども食堂」には、食事の提供だけでなく、学習の場など多くの役割がある。</li> <li>・一方、学習環境においては、学習塾など望む形態への誘導も考えられることから、単に「子ども食堂」が増えていくことを目標として良いのか、悩ましいものがある。</li> </ul>
2	子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ての主体はやはり母親という部分もある。</li> <li>・男性の子育て参画をどのように打ち出すべきか。</li> </ul>
3	子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父親のコミュニティづくりなど、一歩踏み出したことは評価できる。</li> <li>・まず、こういうことが大事だと気づいていただくことが重要。</li> </ul>
4	健康寿命	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療の方向性等について、新たな情報があれば教えて欲しい。</li> </ul>
5	子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ばりキャリア」「ゆるキャリア」「フルキャリア」という言葉がある。</li> <li>・子育てには、祖母がいかにかサポートできるかというのも重要。</li> <li>・そのため、祖母等のサポートを支援できる仕組みを独自に考えても良いのではないか。</li> <li>・祖母等に支えられる「あねキャリア」もあってよいのではないか。</li> </ul>
6	全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランを読んだ後、よくできているからこそ、残るものがないという感想。</li> <li>・少子高齢化・人口減少が最大の課題だと思うが、これを逆手にとって、他県でやっていない施策など、尖ったものを考えて良いのではないか。</li> <li>・行政としては難しいかもしれないが、県民に見えるポイントとして、満遍なくやりつつも、もう一歩突っ込んだものが欲しいという印象。</li> </ul>
7	指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランを読んで、県民の皆さんが「自分たちの努力が足りない」と思わないような工夫が必要。</li> <li>・例えば、指標において、母子家庭は年間就労収入が低い家庭が多いというイメージを受けかねないが、当事者の努力次第というよりも、周辺のサポートの充実が重要という見せ方ができるとよい。</li> <li>・障がい者の福祉的就労に係る平均工賃についても同様。</li> </ul>
8	SDGs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの視点が入っていることは、シンプルだが重要なこと。</li> <li>・もう少し、県としてどう扱うのか踏み込んでおくと、プラン推進にあたって原動力となるのではないか。</li> </ul>
9	教育県大分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村との連携の中で、地域(振興局)の枠を越えた連携が弱いと感じる。</li> <li>・大分市と別府市の位置づけは大きいと感じており、他地域とのコワークなどが必要と感じる。</li> <li>・小藩分立の名残なのか、県民の心に「縦割り」があるのではないか。</li> <li>・「教育県大分」の中で郷土愛をしっかりと築き、「大分県人」としての誇り・自信をもつことが必要であり、そうした誇りがUターンに繋がるなど、他の政策にも波及効果が期待できる。</li> </ul>
10	地域編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域編を設けているが、他の部分に比べ薄いのではないか。</li> <li>・もっと各分野の尖った部分が入っていくことが必要ではないか。</li> </ul>
11	SDGs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し丁寧に、深めてもよいのではないか。</li> <li>・大分らしさがあるとよい。</li> </ul>

No.	項目	発言要旨
12	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RWCの効果は非常に大きかったと感じる。</li> <li>・武道スポーツセンターも完成し、次のターゲットを見据えた取組があるとよいのではないか。</li> </ul>
13	海外展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外展開への機運を醸成する施策についてもう少し議論した方がよかったのではないか。</li> <li>・SDGsの視点も追加されたこともあり、グローバルな視点を持った議論をする場があるとよい。</li> </ul>
14	農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田の畑地化について、施設園芸に変わっていくのは望ましいことだが、施設の建設費がこの2～3年で高騰している。</li> <li>・補助率や入札のあり方などを検討する必要があるのではないか。</li> <li>・ハウスを居抜きによって譲渡するケースも出てきているが、これを制度として支えることが検討できないか。</li> </ul>
15	農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者を地域の人たちがしっかりアフターフォローする環境が必要。</li> <li>・その際、地域に強制するような形にならないように気をつける必要がある。</li> </ul>
16	女性の活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の活躍に向けては、企業の意識を変えることが必要。</li> </ul>
17	事業承継	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のサプライチェーンが切れてしまうと、地域自体が成り立たなくなる。</li> <li>・そのためしっかり事業承継に取り組む必要がある。</li> </ul>
18	農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ稲作のウェイトは高いという現実もある。</li> <li>・園芸に力を入れるのはよいが、米農家にもしっかり情報共有ができるような体制が必要。</li> <li>・よいお米を作ることも重要だが、加工米の生産量は非常に少ない。</li> </ul>
19	女性の活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業への女性の参画が非常に注目されている。</li> <li>・女性が取り組みやすいのは施設園芸であり、かつ収入も得られ、高齢まで取り組みやすい。</li> <li>・もっと農林水産業での女性の活躍を確保していくべきではないか。</li> </ul>
20	創業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(女性の)創業後、経営体として、ちゃんと企業として成り立っていけるような、事業継続を支えるサポートといったプロジェクトがもっとあるとよい。</li> </ul>
21	先端技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が抱える課題の解決に向け、先端技術を活用していくのは重要であり、もっとその挑戦を打ち出していくべきでないか。</li> </ul>
22	農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放棄水田が崩れて被害が広がるケースがあり、農地のハザードマップを作成しているところもある。</li> <li>・放棄地の把握など、農地の保全をすることが、活力にも繋がっていくと思う。</li> </ul>
23	女性の活躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年の採用予定の8割が女性であり、社内の制度自体を見直す必要があると感じている。</li> <li>・女性が主体となって運営していく企業に変えていかないとたないとも感じる。</li> <li>・企業と連携した意識改革は待ったなしであり、職場内をいかに女性の視点でつくっていくかということが重要。</li> </ul>

No.	項目	発言要旨
24	創業	・大分でいかに起業し、継続させていくかということについて、民間で意識をつくっていくことが必要。
25	教育県大分	・グローバルな教育とは、地域のことをしっかり知った上で、ということが重要。 ・書きぶりとして、「しっかり郷土教育を踏まえた上で」という理解をしてもらう工夫が必要。
26	教育県大分	・高大接続改革について、入試改革そのものが悪のようないわれ方をしている状況もあるが、国の方針に惑わされることなく、子どもたちに確かな学力を付けていくことを積み上げていきたい。
27	交通ネットワーク	・九州の東の玄関口に係る指標が盛り込まれたことは評価できる。
28	交通ネットワーク	・港湾と広域交通ネットワークの整備によって大分のポテンシャルは非常に上がる。 ・「九州の東の玄関口」と「広域交通ネットワーク」の整備は両輪で威力を発揮する。 ・そういった面がしっかり伝わるように記載をしていただきたい。
29	健康寿命	・「朝食を毎日食べる児童生徒の割合」という指標単独の数字が重要というよりは、バックグラウンドにしかっている「健康」が重要。 ・健康は一つの切り口ではあるが、全てにわたっているという認識が伝わるよう記載してほしい。
30	障がい者	・障がい者雇用について、農福連携を進めているが、工賃を上げてほしいという声が増えてきた。 ・障がい者本人だけでなく、施設職員の人件費の向上も必要といった声が聞かれる。 ・施設の維持、施設への発注の仕方といったことも検討しないと、障がい者雇用率日本一は難しい。
31	地域編	・大分空港あるいは空港周辺の資産をもっと使うという視点が必要ではないか。 ・東京から見たとき、大分市は遠いため、国東自体に価値観を持たせることも効果的と考える。
32	農林水産業	・地域編に農地が多く出てくるが、障がい者の活躍の場ともなる。 ・地域の産品を県民が使い、観光産業でも使用するなどを進めていくと食の安心にも繋がる。 ・そういった意味で、安心や発展にも「農業」をちりばめてよいのではないか。
33	地域編	・地域編に数値目標は示されないが、どのように取組を進めていくのか。 ・また、地域の方向性は地域次第だと思うが、活力、また県全体の施策と結びついているのか。
34	地域編	・各地域の観光振興について、「鉄道」の視点を入れられないか。
35	知の拠点	・地域と大学との連携について、大学全体として協力して進めていきたいと考えており、もっと連携件数を増やしていきたい。

No.	項目	発言要旨
36	芸術文化	・「美術館入場者数」と「芸術文化に触れる機会」の指標は、上方修正ということがわかりにくいのでは。
37	移住・定住	・移住者に対する強烈的なインセンティブがあるのか。 ・地域によって違いがあるというのは非常に有効な手段だと考えるが。
38	女性の活躍	・女性の活躍についても、自治会での女性のあり方など、地域毎に事情が異なるのではないか。 ・そういった部分について、地域編で記載しなくてよいのか。 ・地域づくりの中にまったく女性という記載がない。
39	全般	・「あねキャリ」、「アイラブおおいた」、「帰っておいで作戦」など、今までの議論の中で委員から発言のあったキーワードについて、プランに記載できることはないか、検討していただければ。
40	SDGs	・「地球上の誰一人として取り残さない」という理念は、世界の人たちが対象。 ・例えば、海外からの安価な飼料の輸入は、現地の貧困等にも繋がりがねないが、国内での飼料生産の推進は、そういった問題の解決にも繋がる。 ・そういった活動が広く繋がっているという視点が必要ではないか。
41	ブランド力	・農林水産業が肝ではないか。 ・おもてなしの最大の勝機は「食」ではないか。 ・生産・流通を含め各地域を横串でみていくことが大事であり、そうした取組により大分ブランドが構築されるのではないか。
42	交通ネットワーク	・東九州新幹線について、ぜひ実現に向けて全体的なリーダーシップをお願いしたい。 ・産業界も含め県民的な取組みになることが必要。